

今日、京響?

Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団

第599回定期演奏会

The 599th Subscription Concert of
the Kyoto Symphony Orchestra

運命の打撃、
高関健のマーラー “悲劇的”



2016 **3/12** 土
3/13 日

午後2時30分開演 (午後1時30分開場)

京都コンサートホール

Sat, March 12, 2016 / 2:30PM

Sun, March 13, 2016 / 2:30PM

Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

開演前(午後2時10分ごろから)は
指揮者による「プレトーク」、
終演後は「レセプション」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上にて、
「レセプション」はホール・ホワイエにて開催します。

マーラー：交響曲第6番イ短調「悲劇的」

Mahler: Symphony No.6 in A minor “Tragic”

入場料 **S ¥5,000** **A ¥4,500** **B ¥3,500** **P ¥2,000** (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券 **S ¥2,000** **A ¥1,500** **B ¥1,000**

※学生券は開演1時間前から発売 (席種は選べますが、座席指定はできません。学生証をご提示ください)。
※本公演では休憩がないため、後半券の発売はありません。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。
(お子様お1人につき1,000円 / 2016年3月4日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上でのチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。
京響(075-711-3110)までお問い合わせください。

プレイガイド (電話予約)

- ・京都コンサートホール (075) 711-3231 (ホームページからオンラインチケット購入もできます)
- ・チケットぴあ (0570) 02-9999 Pコード 248-311
- ・ローソンチケット (0570) 000-407 Lコード 58639

お問い合わせ 京都市交響楽団 (075) 711-3110
▶ <http://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075) 711-3231
▶ <http://www.kyotoconcerthall.org/>

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

助成：文化庁文化芸術振興費補助金 (トップレベルの舞台芸術創造事業)



主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市



協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団



指揮：高関 健 (常任首席客演指揮者)

Conductor: Ken TAKASEKI (Principal Guest Conductor)

◎細田力丸

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション



2016.1.10 OPEN
ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto

京都市交響楽団 第599回定期演奏会

The 599th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

“音楽家として、一人の人間として人生の頂点を迎えていたマーラーが、ベートーヴェンに迫る気概を持って、最も厳格なスタイルで作曲した交響曲”と語る高関。大編成でありながら精緻なオーケストレーションが施されたこの曲を、毎回の綿密なスコアリーディングに裏打ちされた明晰な棒さばきによって、常任首席客演指揮者2年目の高関がどう料理するかに興味が注がれます。

指揮 **高関 健** (常任首席客演指揮者)

Conductor : Ken TAKASEKI (Principal Guest Conductor)

京都市交響楽団常任首席客演指揮者、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団常任指揮者。桐朋学園大学在学中の1977年にカラヤン指揮者コンクールジャパンで優勝。翌年同大卒業後、ベルリン・フィル・オーケストラ・アカデミーに留学し、1985年までヘルベルト・フォン・カラヤン氏のアシスタントを務めた。1981年タングルウッド音楽祭でレナード・バーンスタイン氏、小澤征爾氏らに指導を受け、同年ベルゲン交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。1983年ニコライ・マルコ記念国際指揮者コンクール第2位。1984年ハンス・スワロフスキー国際指揮者コンクール優勝を経て、1985年1月に日本フィル定期演奏会で日本デビュー。国内オーケストラはもとより、ウィーン交響楽団、オスロ・フィル、デンマーク国立放送交響楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、クラングフォーラム・ウィーン、プラハ放送交響楽団、ケルン放送交響楽団などに客演。2013年2月のサンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会では、ロシアの名門オーケストラから豊潤な響を引き出し、聴衆や楽員から大絶賛を受けた。オペラでは新国立劇場公演「夕鶴」、二期会「魔笛」「フィガロの結婚」「ウリッセの帰郷」、大阪カレヅジオペラ「ピーター・グライムズ」などで好評を博し、2009年のピエール・ブレーズ京都賞受賞記念ワークショップではブレーズ氏から、ピアノのマルタ・アルゲリッチとチェロのミッシェル・マイスキーをソリストに迎えた2012年の別府アルゲリッチ音楽祭でのシCHEDリン作曲『ピアノとチェロのための二重協奏曲「ロマンティックな捧げもの」』日本初演では両氏からその演奏を絶賛されるなど、ソリストからも絶大な信頼を得ている。広島交響楽団音楽監督・常任指揮者、新日本フィル正指揮者、大阪センチュリー交響楽団常任指揮者、群馬交響楽団音楽監督、札幌交響楽団正指揮者等を歴任。1994年には“プラハの春国際音楽祭”“ウィーン芸術週間”を含む群馬交響楽団ヨーロッパ公演を成功に導いた。渡邊暁雄音楽基金音楽賞(1996年)、齋藤秀雄メモリアル基金賞(2011年)を受賞。東京芸術大学音楽学部指揮科教授。
twitter.com/KenTakaseki



©Masahide Sato

京都市交響楽団 *Kyoto Symphony Orchestra*

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏等にも積極的に取り組み、2007年「第25回京都府文化賞特別功労賞」「京都創造者大賞2007」受賞。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2010~13年広上淳一指揮の定期演奏会ライブ録音CD「名曲ライブシリーズ」を3枚リリース。2015年「第27回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」及び広上淳一と京響で「第46回サントリー音楽賞」受賞。2015年6月には、広上淳一の指揮のもと、18年ぶりのヨーロッパ公演をプルゼニ(チェコ)、ケルン(ドイツ)、アムステルダム(オランダ)、フィレンツェ(イタリア)の4都市で開催して成功を収め、2016年の創立60周年という節目に向け、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進を図っている。



2016 1/23(土)から発売!

❖ 次回予告 ❖

2016 2/14(日)から発売!

第600回定期演奏会

新たなる胎動、ツァラトウストラはかく語りき
～時を超えた宇宙の響き、ジュピター～

日時：2016年4月15日(金) 午後7時開演

会場：京都コンサートホール

指揮：広上 淳一 (常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザー)

曲目：コーブランド：市民のためのファンファーレ

モーツァルト：交響曲第41番ハ長調「ジュピター」K.551

R.シュトラウス：交響詩「ツァラトウストラはかく語りき」op.30



©K.Miura

第601回定期演奏会

初登場のゲッツェルが選んだ二つの舞踏曲
～旧知アウアーとのモーツァルト～

日時：2016年5月21日(土) 午後2時30分開演

2016年5月22日(日) 午後2時30分開演

会場：京都コンサートホール

指揮：サッシャ・ゲッツェル

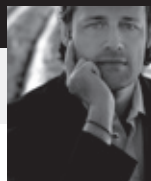
独奏：ウルター・アウアー (フルート)

曲目：ニコライ：歌劇「ウインザーの陽気な女房たち」序曲

モーツァルト：フルート協奏曲第1番ハ長調K.313 (285c)

バルトーク：バレエ組曲「中国の不思議な役人」op.19

ラヴェル：ラ・ヴァルス



入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)